

新 評 論

 2019, 2020
12・1
 No.299

 発行所 © 新 評 論 2019年
 〒169-0051 新宿区西早稲田3-16-28
 TEL03-3202-7391 FAX03-3202-5832
<http://www.shinhyoron.co.jp>
 e-mail: shrn@shinhyoron.co.jp
 振 替 00160-1-113487 価格税抜


子どもが目を輝かせる理科の授業はどうすれば可能か？

(撮影: Tatyana Popova)

**決まった問いと答えを押しつける教育はもうやめよう！
 1年を通じてワクワクできる理科授業づくりの秘訣満載**

だれもが「科学者」になれる！

探究力を育む理科の授業

チャールズ・ピアス／門倉正美・白鳥信義・山崎敬人・吉田新一郎 訳

◆ジャンル: 科学・理科教育

「子どもは本来好奇心が旺盛で、自らの問い、探究する科学者である」——これが著者ピアスの信念です。それにしても、多くの理科のクラスで生徒たちがあまり楽しそうでないのはどうしてでしょう？

著者によればその理由は、学校の授業が生徒の自発的な問いを育むことなく、もっぱら問いと答えをセットで与える（＝強制的に覚えさせる）ものに終始しているからです。そこで著者は、自身が担当する理科のクラスで、生徒が自発的に問いを立て、その答えを科学的に探究するように促し続ける「探究理科」（探究活動中心の理科教育）を実践します。

本書における「探究理科」は、「ビーズの色はなぜ変わるのか？」という問いからはじまります。そこから「発見ボックス」に入れたさまざまなモノを発見したり、野外授業で小動物の骨に出合ったり、科学読み物を参考にエコロジカル・ミステリーを書いたりといった多様な活動を経て、自らの探究成果をちょうど学会発表のごとく、「子ども探究大会」で発表してクライマックスを迎えます。こうした一年間の授業風景が、綿密な授業計画や授業方法、使用するワークシートなどの

紹介も含めて生き生きと描き出されます。とくに興味深いのは、「探究理科」では、科学的活動が「読む・書く・聞く・話す」という言語活動と有機的に関連づけられているところです。科学のおおもとには、先人の研究成果を知り、仲間と協働するといったコミュニケーションがあるからです。また、生徒の探究心を育む科学絵本や科学読み物が授業に豊富に取り入れられる点も魅力的です。

日本の「新学習指導要領」では、「主体的・対話的で深い学び」が強調されています。しかし、そうした学びをどのように養うかについての具体的な提案は乏しいようです。その点本書には、アクティブな探究心を触発する実践的なヒントが満載です。

(かどくら・まさみ)

ISBN 978-4-7948-1143-1

1月上旬刊

四六並製 予三二〇頁 予二四〇〇円

好評刊
教科書では学べない数学的思考
 「ウーソン」と「アハ！」から学ぶ
 J・メイソン・K・ステイスイー他／吉田新一郎訳
 二四〇〇円

好評刊
算数・数学はアートだ！
 「ワクワクする問題を子どもたちに」
 P・ロックハート／吉田新一郎訳
 一七〇〇円

著者 Charles R. PEARCE アメリカ・メリーランド州マンチェスター小学校教員。優れた理科教育者として大統領賞を受賞。マンチェスター大学の小学校理科統合教育プロジェクトのメンバー。共著書にScience Workshop (『サイエンス・ワークショップ』) など。



2006年、レスター・ブラウン博士を囲んで

環境教育の源であり憩いの場である生態系・生物多様性の宝庫を守る市民の闘いの記録。「まちづくり」の意味を深く問い直す

「関さんの森」の奇跡

市民が育む里山が地球を救う

関 啓子

◆ジャンル：環境問題／環境教育

隊列を組んだものものしい出で立ちの市職員と業者八〇人が「関さんの森」にやって来ました。迎え撃ったのは平服の市民一二〇人。「関さんの森」が強制収用されようとしたときの模様です。

「関さんの森」とは、千葉県松戸市の北にあるおよそ二ヘクタールの森林です。一九九六年に公益法人に委譲されて以来、市民に開放され、子どもたちの環境教育の場として、市民の憩いとケアの場として大いに活用されていきました。「関さん」は元の地権者の名前です。敷地内には蔵や門など江戸時代の建造物も保存されていて、自然の中の歴史的・文化的遺産でもあります。ところが二〇〇〇年代末、この森を引き裂くようにして都市計画道路が造られ、土地の強制収用手続きがはじまったのです。

「関さんの森」では二三年前から「関さんの森を育む会」という市民団体が里山保全に努め、誰もが参加できる自然観察会やイベントを開催してきました。環境研究で世界的に有名なレスター・ブラウン博士も訪れ、「この森はとても気持ちがいい」と言って生態系保全の活動を高く評価してくれました。

「関さんの森を育む会」の会員たちと元地権者は、里山をできるだけ壊さないよ

うに道路の形を変更する案を提示しました。行政主導の開発に立ち向かってもしよせん勝ち目はありません。でも、黙って引き下がることはできなかった。なぜなら、この森は、都市部にありながら生物多様性が豊かで、地元住民が自ら育て活用し、運営している市民の共有財産だからです。つまり対立は公共性をめぐる闘いであり、単なる抵抗運動ではなく政策提言運動であり、自然との共存を目指す文化運動でもある——そう、これは市民による「まちづくり」をめぐる闘争なのです。

本書はこの運動の推移、市民が提言した道路変更案が実現されていく過程を描いたものです。あわせて現代における里山保全活動の価値や意義も論じます。本書を通じて、自然保護のために汗と知恵を絞っている世界中の人びとに心からのエールを送ります。(せき・けいこ)

ISBN978-4-7918-1142-4 1月中旬刊
四六並製 予三三〇頁 予二四〇〇円

明日なき森

「カメムシ先生が熊野で語る」

熊野の森ネットワークいしがしの会編

吉田元重・玉井清夫監修 二八〇〇円

好評刊 循環と共存の森から

「狩猟採集民ムブティ・ピグミーの知恵」

船尾修 二二〇〇円

著者 一橋大学名誉教授、博士(社会学)。専門は教育思想史、比較教育学、環境教育。動植物(生きもの)の魅力と自然保護に献身する人びとの息遣いを伝えるべくノンフィクション作家の修業を積んだ。趣味はアムールトラに会いに行くこと。

好評刊

ISBN978-4-7948-1130-1



良いスウェーデン、
 悪いスウェーデン
 P・ラパチオリ／鈴木賢志訳
 「ポスト真実の時代における国家ブ
 ランド戦争」 280字のつぶや
 きを武器とする戦争が始まった？
 四六並製 二五六頁 二二〇〇円

近刊

ISBN978-4-7948-1141-7



あなたの知らない
政治家の世界
C・ワリン／アップルヤード和英訳
〔スウェーデンに学ぶ民主主義〕
高橋源一郎氏らリベラルも注目
する民主政治先進国のリアルな姿
四六並製 三四〇頁 三二〇〇円

最新刊

ISBN978-4-7948-1136-3



スウェーデンにおける
野外保育のすべて
E・エングゴード／高見幸子・光橋 翠訳
『森のムツレ教室』を取り入れた保育
実践』 子どもたちが自然の中で遊
び、学ぶ、野外教育の理論と実践。
四六並製 三〇八頁 二四〇〇円

久米宏氏、座間宮ガレイ氏絶賛

ISBN978-4-7948-1056-4



スウェーデンの
「4刷出来」
小学校社会科の教科書を読む
ヨラン・スバネリッド／鈴木賢志・編訳
明治大学国際日本学部鈴木ゼミ 編訳
投票率85・8%の国では、小学
校社会科で何を教えているのか？
四六並製 二八〇頁 一八〇〇円

奸評刊

ISBN978-4-7948-1128-8



ノルウェーのサーメ学校に見る
先住民族の文化伝承
長谷川紀子
〔ハットフェルダル・サーメ学校のユニークな教育〕 次世代に継承される「トナカイと共に生きる文化」
A5上製 三三六頁 三〇〇〇円

最新刊

ISBN978-4-7948-1139-4



フィンランド公共図書館
吉田右子・小泉公乃・坂田ヘントネン亜矢
〔羅進の秘密〕 フィンランドの知識の森によろこそ！各地の公共図書館を通してみるこの国の秘密。
四六上製 二七二頁 二五〇〇円

「日刊工業新聞」紹介

ISBN978-4-7948-1112-7



リングトーン

塩田良平

〔未来からのメッセージ〕 過去は未来を開く扉——リアルな設定で人類とAIの関わりを問う近未来小説。

四六並製 二二八頁 一八〇〇円

「跡部新聞」編輯

ISBN978-4-7948-1125-7



大事なことがはつきりする
ささやかな瞬間
ミハエル・ナスト／小山千早訳
〔関係づくりが苦手な世代〕 社会や
世代が抱える問題の本質をユーモア豊
かに綴る大人気コラム、日本上陸！
四六並製 二四〇頁 一八〇〇円

改訂増補版 読書がさらに楽しくなる
ブッククラブ

吉田新一郎

〔読書会より面白く、人とつながる
学びの深さ〕 初版を読んでブックク
ラブに取り組んだ「実践例」を増補！
A5並製 二五二頁 二二〇〇円

最新刊

ISBN978-4-7948-1137-0

教育のプロがすすめる
イノベーション

G・クローズ／白鳥信義・吉田新一郎訳

〔学校の学びが変わる〕 読む者に
行動を起こさせる卓抜なヒントに
満ちた、「学校づくり」のバイブル。
四六並製 二七八頁 二七〇〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1129-5



梅根悟

中野光

〔その生涯と「こと」〕 梅根の前に梅
根なし、梅根の後も梅根なし」と言
われた教育界の巨人の決定版評伝！
四六並製 二四四頁 二二〇〇円〔西日本新聞〕他書評
ISBN978-4-7948-1116-5

宿題をハックする

CS・サウザン・イン／高瀬裕人・吉田新一郎訳

〔学校外でも学びを促進する10の方
法〕 教師と子どもが笑顔になる「家庭
学習」で、学びの意味をとりもどそう！
四六並製 三〇四頁 二四〇〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1122-6



議論と翻訳

桑田禮彰

〔明治維新期における知的環境の構築〕
現在の危機の本源は議論の劣化
にある。議論環境の再構築へ！
四六並製 五八〇頁 四八〇〇円〔週刊読書人〕他書評
ISBN978-4-7948-1110-3100年前から見た
21世紀の日本

大倉幸宏

〔大正人からのメッセージ〕
池上彰氏も絶賛、閉塞打開の鍵
を歴史に探るシリーズ最新作。
四六並製 二六八頁 二〇〇〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1135-6



メイド・イン・ツバメ

関満博

〔金属製品の中小企業集積で世界
に羽ばたく新潟県燕市〕 114事業
所訪問、複合金属基地の産業大全。
A5上製 六六四頁 八五〇〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1131-8

写真記録・三島由紀夫が書かなかった
近江絹糸人権争議

本田一成

〔絹とクミアイ〕 日本を震撼させた
熾烈な労働争議の全貌を二〇〇点超
の写真で再現！歴史的闘争が今甦る。
A5並製 二五六頁 二四〇〇円

『朝日新聞』書評

ISBN978-4-7948-1118-9



経済学のパラレルワールド

岡本哲史・小池洋一編著

〔入門・異端派総合アプローチ〕

マルクスやケインズに発する反

新古典派の最新理論を懇切に解説。

A5並製 五二〇頁 三五〇〇円

最新刊

ISBN978-4-7948-1140-0



黄昏の夜明け

P・ヴェリリオ 聞き手S・白ランジュ／土屋 謙訳

〔光速度社会の両義的現実と人類

史の「今」〕速度の政治経済学を提

唱し、世界的危機の本源を解明。

四六上製 二七二頁 二七〇〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1126-4



黙示のエチュード

マニエル・ヤン

〔歴史的想像力の再生のために〕破滅

の予感を生き抜く力に変える。歴史

社会学の異才、待望の第一論集！

四六上製 二九六頁 二八〇〇円

〔書標〕書評

ISBN978-4-7948-1113-4



地球に降り立つ

B・ラトゥール／川村久美子訳・解題

〔新気候体制を生き抜くための政治〕

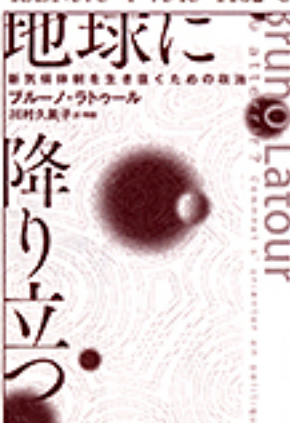
パリ気候協定後の世界とトランプ現象の根

幹をどう理解し、思考の共有を図るべきか。

四六上製 予二〇八頁 二二〇〇円

近刊

ISBN978-4-7948-1132-5



屈服しない人々

T・トドロフ／小野 潮訳

ヒレスム、テイヨン、バステルナ

ク、ソルジェニーツィン、マンデラ、マ

ルコムX、シュルマン、スノーデン。

四六並製 三二二頁 二七〇〇円

〔週刊金曜日〕紹介

ISBN978-4-7948-1103-5



ジハードと死

オリヴィエ・ロワ／辻 由美訳

過激派の声に耳をすませ、20世紀末

以降、欧米の若者たちを「死と暴力」に

駆り立ててきたものの正体を剥出。

四六並製 一三四頁 一八〇〇円

〔朝日新聞〕書評

ISBN978-4-7948-1124-0



新訂 フランク史一〇巻の歴史

トゥールのグレゴリウス／杉本正俊訳

草創期ヨーロッパ世界を知る上で不

可欠の歴史書、読み物としての魅力

を再現する定訳、待望の新訂版！

A5上製 六三三頁 六五〇〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1134-9



喜びへの希望

J・ドリモ／西澤文昭・永見文雄訳

西洋文明を刺激し続けた「幸福」

天国「観の生成・解体・脱構築。心性

史研究の金字塔三部作、堂々完結！

A5上製 七二四頁 九〇〇〇円

〔毎日新聞〕書評

ISBN978-4-7948-1123-3



ノラ・イクステナ／黒沢 歩訳『ソビエト・ミルク ラトヴィア母娘の記憶』

隷属と自由の間で揺れる若い魂の記録

■評者 沼野充義（東京大学教授）

現代ラトヴィアの女性作家による話題作である。人口二百万足らずのバルト地方の小国で五万部売れるベストセラーになっただけでなく、既に英語をはじめとして世界の多くの言語に翻訳されている。物語は、一九六九年生まれの娘と、一九四四年生まれの母の複雑な関係を軸に、二〇世紀後半のラトヴィアという国の苦難の歴史を背景に展開する。孫娘を愛し守る祖母も蔭で重要な役割を果たしているから、女たち三代の物語と言うべきだろう。なお小説を通して、彼女たちが名前と呼ばれていることではない。

「ソビエト・ミルク」とは不思議なタイトルではないか。ラトヴィア語の原題は、単に「母乳」だという。母は娘を産んだとき、自分の母乳が「不安と崩壊の苦い乳」だという妄想にとらわれ、家を突然出て育児放棄したため、娘は母乳の味を知らないまま育つことになったのだ。母は優秀な医師だったが、ラトヴィアからレニングラードに研修に行ったとき、大変な事件を起こす。子供ができなくて悩んでいたロシア人女性に人工授精の施術を行い、妊娠を成功させるのだが、そのロシア人女性の子供ができるという喜びも束の間、泥酔した夫に顔が変わるほど激しく殴られてしまう。それを知って憤慨に駆られたのか、ラトヴィア人医師は男を呼び出して鈍器で叩きのめし、大怪我を負わせたのだ。

この事件の結果、母は病院での職を失い、エリート医師としてのキャリアから転落し、娘を連れて田舎の救急センターに落ち延びる。もともと母にはこの世のあり方全般に対する深い憎しみがあり、祖母との関係もこじれていたが、娘にも愛情を感じられず、関係はぎくしゃくしていた。そして、睡眠薬を常用するようになり、自殺を試みたりもする。「生きていたくなかったのです。生きようとしないうちに母の乳を（生まれた娘に）与えたくなかったのだ」と、彼女は自分で説明している。

『毎日新聞』2019年10月13日

係が逆転し、幼いながらもむしろ庇護者のように振る舞い始める。物語は母と娘のそれぞれの立場からの語りの頻繁な交代を通じて進んでいくのだが、娘の側から見れば、この小説は小学生から大学生になるまでの女の目覚めと成長の物語でもある。家庭環境が困難だっただけでは、旧ソ連時代の厳しい抑圧の下、隷属と自由の間で生き方を探し求める若い魂の記録にもなっている。

このすべての人間ドラマと並行して展開するのが、一九四〇年にソ連に組み込まれて以来、ブレジネフの死去、チェルノブイリ原発事故、ゴルバチョフの登場とベレストロイカ、そして最後には悲願の独立へと至るラトヴィア現代史の流れである。そしてメルヴィルの『白鯨』や全体主義社会を風刺したオーウェルの『一九八四年』のテキストがちりばめられ、イエセという名前の（明らかにイエスキリストを暗示する）両性具有者も母娘の生活に深く関わってくる。

戦後ラトヴィアの複雑な歴史は、日本からは遠いので、理解しにくい面もあるだろう。しかし、現代社会における女たちの生きにくさと、そんな状況にもめげずに生き続ける姿を描いているという点では、国を越えて響き合うところが少なくない。最近人気が高い韓国の女性文学にも通じるものがあると思う。ここで男たちの影は薄く、男たちはいつでも女たちを頼りに生きているのに、女たちの抱えた問題には無関心なのだ。ちなみに、この小説の娘の生年月日は著者と同じである。どこまで自伝的要素が盛り込まれているのだろうか。

ソビエト・ミルク

N・イクステナ／黒沢 歩訳

「ラトヴィア母娘の記憶」ソ連体制下に生きて自由を求めた母娘の行く末は……。ラトヴィア文学の傑作！

四六並製 二八〇頁 二〇〇〇円

NHK「おはよう日本」にて紹介
ISBN978-4-7948-1133-2

本を売る

書店員の七つ道具

本屋で働いていたころ、一日の歩数はおよそ一万二千歩ほどでした。小さなお店で八千歩くらい。書店員は、出勤したら退社するまでずーっと歩いていると思います。今でこそパソコン仕事が多くなつて、デスクに座ることも増えたでしょうけれど、管理職でもない限り専用のデスクがあるわけもなく、なので、仕事に必要な小道具はすべて持ち歩いていました。事務所やレジカウターの一面に置けるけれど、必要のたびにそこに戻る時間を省きたくて携帯していました。注文書に冊数を書き込んだり、受けた電話を控えたり、客注伝票を書くための筆記具数本は○で必要だし、お尋ねを書き留めたりするメモ帳や付箋、何かをちよつと工作するためのはさみ、のり、テープ。段ボールを開梱するためのカッター、突然の荷受けや領収書発行、レジ作業での扱い印押印のためのはんこ。そしてスリッパを止める輪ゴム、クリップ。スリ

ッパをめくるための指サックやノンスリッパ。で、これらをどこに入れていたかというと、もちろんエプロンのポケットでした。

だけど、みんながいちばんポケットに入れていたのはスリッパの東。隙間の時間に棚を見られるように入れていたのだったかしら。なかには一週間分くらいもありそうな厚さ10センチほどの東、それも上部がめくられて、たぶん何日も取り出してすらいらないんじゃないかと思う薄汚い束を、端がほつれたポケットに無理に突っ込んでいる子もいる。ポケットの底には、たぶん折れに折れたスリッパが沈んでいる。こういう子は実はどこにでもいました。

でも、もうそんなことも終わります。スリッパ廃止の波は逆流しない。七つ道具は三つ道具くらいになりました。少なくとも彼女のポケットはもうほつれることはなく、今では、きれいなエプロンで働いているのではないのでしょうか。

ハイブリッド型総合書店honto

(株)トウ・ディファクト

ハイブリッド企画部 矢部潤子

本誌表示価格はすべて税抜です。

書評日誌(9・21~10・21)

●書評 ●紹介 ●関連記事

- 9・21 ⑩読売新聞(夕刊)『ソビエト・ミルク』刊行記念講演会(10/4)案内
9月号 ⑩世界『オルグ!オルグ!オルグ!』著者鼎談(鈴木剛、川添誠両氏との)
⑩教職研修『宿題をハックする』
10・4 ⑩週刊読書人『黙示のエチュード』(丸川哲史)

- 10・11 ⑩朝日新聞(夕刊マリオン面)+朝日マリオン・コム『新装合本 牙王物語』プレゼントコーナー
10・13 ⑩毎日新聞『ソビエト・ミルク』(沼野充義)
⑩読売新聞『ソビエト・ミルク』(沼野充義)
10・21 ⑩日刊工業新聞『リングトーン』(著者談)

好評2刷出来
ISBN978-4-7948-0999-5



私たちの国際学「学び」
奥田孝晴・椎野信雄編
「大切なのは「正しい答え」ではない」「世界」と「私」と「私たち」をつなぎ直すもう一つの学びの実践へ。
四六並製 二六四頁 一八〇〇円

好評2刷出来
ISBN978-4-7948-1117-2



教科書では学べない
数学的思考
K・メイソン・バーン / 吉田新一郎訳
「ウーン」と「アハ」から学ぶ
算数・数学がらいがこの一冊で解消!
読めばあなたも論理的思考の達人。
四六並製 三一四頁 二四〇〇円

本を読む

100年前から見た21世紀の日本
筋立てに沿うような記事・文書を集めたものと思うが、それでも100年前と今で、社会状況はかなり違うのにこれほど同じ言葉が使われているのには驚きである。著者の第1作『昔はよかった』と『言うけれど』の読了後も「発言には気をつけねば……」と思ったが、本作でも同様のことを感じた。感覚だけではだめである。非常に参考になった。

(二宮市 寺澤英知 74歳)

現代社会用語集

個々の分析・解釈がスリリングであるだけでなく、自分が(漠然と)是と考えていた「リベラリズム」等の概念の裏面を示されて衝撃をうけた。このような衝撃に耐えて探究をすすめることこそ、学問というものなのだろう。(世田谷区 会社員 黒澤雅恵 31歳)

あなた自身の社会

新評論を代表するロングセラーで、刊行以来20年以上も読まれ、評価されているという。スウェーデンに興味もあったので読んでみ

たところ、日本との大きな違いを感じた。今の日本の社会科教育の内容を詳しくは知らないが、おそらく高校の現代社会や政治経済の教科書は受験対応が中心であろう。スウェーデンの中学社会科ではこんなことが教えられているのか、と少なからず驚きがあった。

(東久留米市 佐久間 章 72歳)

宿題をハックする

授業時間外での生徒の学びをいかに促進していくかが詳しく書かれている。教師の仕事は学校の中だけにとどまるものではないことに感銘を受けた。現状の画一的・均質な学びを個別化していく上でも、本書の役割は大きい。

(川崎市 教員 岡田 渉 42歳)

好評刊

あなた自身の社会

(スウェーデンの中学教科書)
Aラインクラス / 川上邦夫訳
J・ウェスト
二二〇〇円

現代社会用語集

入江公康
一七〇〇円

ある子どもへキヴァー4部作(完結編)
ロイス・ローリー / 島津やよい訳
二四〇〇円

猫たちとニューヨーク散歩

(久下貴史作品集2)
三三〇〇円
画・久下貴史 / 文・ジャパン・アーティスト株式会社

編集部から

松戸市民の共有財産「関さんの森」を貫く道路計画をめぐる、景観を保護する代替案が市議会にて採択されたのが一九七六年。計画頓挫のまま三〇年が過ぎ、二〇〇八年、突如土地収用のための立ち入り調査が断行される。人々はそのときどう行動したか……自然との共生の基盤を守ろうとする市民の闘いの記録・新刊『関さんの森』、ご期待下さい▼計画再開は「小泉構造改革」下の道路公団民営化から三年後の出来事。それがいかに空虚な「改革」であったかは、いち早くこの問題を指摘した諏訪雄三「道路公団民営化を喰う」に詳しい。この夏、甲府検察審査会が責任者を不起訴相当とした二〇一二年笹子トンネル事故や、佐野S.A.ス問題の淵源もここにあります。

営業部から

▼直近3ヶ月のAmazonでの弊社書籍売上ベスト15をご紹介します。

- ① たった一つを変えるだけ
- ② スウェーデンの小学校社会科の教科書を読む
- ③ 宿題をハックする
- ④ 最高の授業
- ⑤ 教科書では学べない数学的思考
- ⑥ 「学びの責任」は誰にあるのか
- ⑦ ジハードと死
- ⑧ 成績をハックする
- ⑨ 菜食への疑問に答える13章
- ⑩ 野球母ちゃん
- ⑪ 現代社会用語集
- ⑫ ギヴァー 記憶を注ぐ者
- ⑬ 20代で身につけたい働き方の基本
- ⑭ スウェーデンに学ぶドキュメンテーションの活用
- ⑮ 教育のプロがすすめるイノベーション

SBC(新評論ブッククラブ)のご案内

会員は送料無料で各種特典あり！お申し込みを！

当クラブ(一九九九年発足)は入会金・年会費なしで、会員の方々に弊社の出版活動内容を紹介する月刊PR誌「新評論」を定期的に送付しております。
入会登録後、弊社商品に添付された読者アンケートハガキを累計5枚お送りいただくことで、全商品の中からご希望の本を1冊無料進呈する特典もございます。
ご入会希望の方は小社HPフォームからお送りいただくか、メールまたはハガキにて、お名前、郵便番号、ご住所、電話番号を明記のうえ、弊社宛にお申し込みください。折り返し、SBC発行の「入会確認証」をお送りいたします。